



池田 和隆 (依存性物質プロジェクト)

ikeda-kz@igakuken.or.jp, 03-6834-2390

依存性物質の作用機序解明とその医療応用

連携先

新潟大学 大学院 医歯学総合研究科 神経精神薬理学分野

(その他、慶應義塾大学・東京大学・東京歯科大学・順天堂大学など)

キーワード: 薬物依存・鎮痛・発達障害・うつ病・神経精神薬理学

依存性物質は諸刃の剣

＜疼痛＞

麻薬性鎮痛薬感受性個人差の遺伝子メカニズムを解明して、テーラーメイド疼痛治療の実現を目指します。

＜ADHD、うつ病＞

モデル動物を用いて治療薬の作用機序を解明します。

＜依存症＞

患者にとっても社会にとっても深刻な問題である依存について、分子レベル、動物レベル、ヒトレベルでメカニズムを解明して、治療の向上に繋がります。



＜依存性物質＞



依存、疼痛、発達障害、うつ病の予防法と治療法の改善を目指す、人に役立つ研究に挑戦する大学院生の皆様をお待ちしています

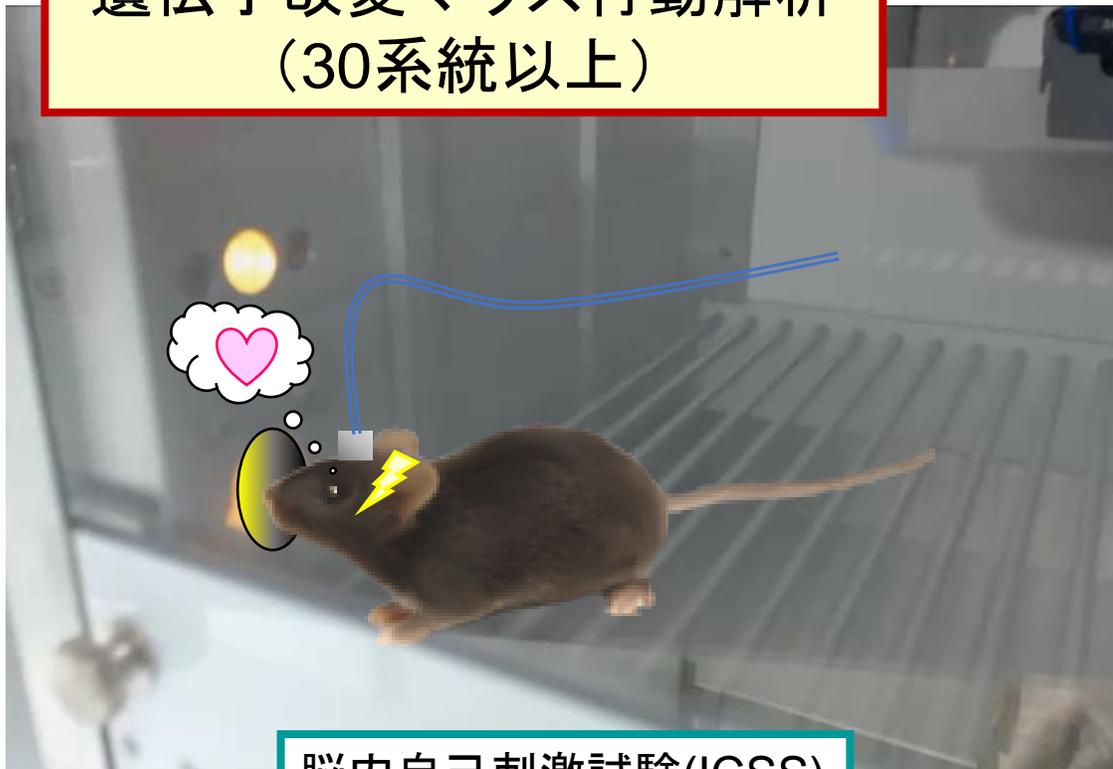


発表論文

Kotajima-Murakami et al. *Frontiers Psychiatry* 13:821354 (2021), Ohka et al. *Mol Pain* 17:17448069211052171 (2021)
Ide et al. *Biol Psychiatry* 84: 551-552 (2019), Ide et al. *Frontiers Pharmacol* 12:802701 (2022)
Fujita et al. *Mol Brain* 13:126 (2020), 15:96 (2022), Kasai et al. *Frontiers Genet* 13:815089 (2022)
Nishizawa et al. *Pharmaceutics* 14:727 (2022), Nishizawa et al. *Cancers* 14:4692 (2022)

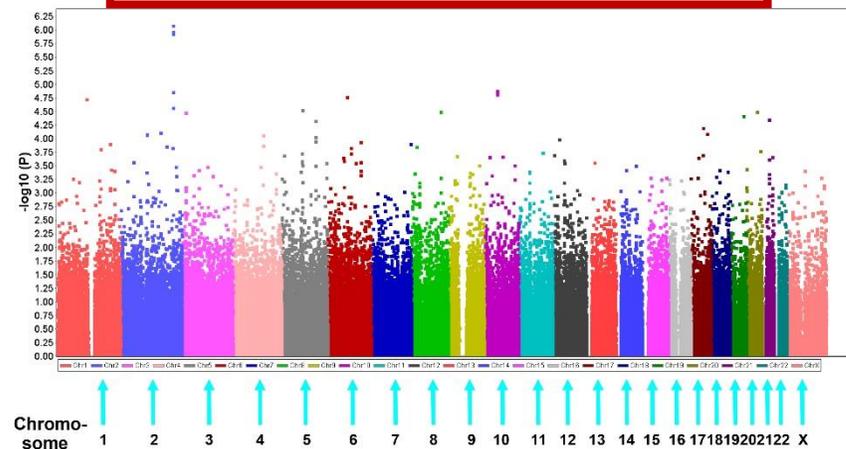
主な研究手法

遺伝子改変マウス行動解析
(30系統以上)

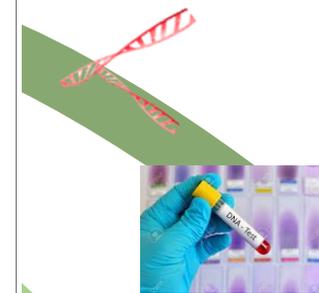


脳内自己刺激試験(ICSS)

1万症例ヒトゲノム解析



ゲノムワイド関連解析(GWAS)



テーラメイド
疼痛治療

15医療機関との臨床研究

実薬
60 mg/日
(20名)



<臨床研究法施行を見越した試験計画>

実薬
120 mg/日
(20名)



1ヶ月後

2ヶ月後

3ヶ月後

プラセボ
(20名)



二重盲検
ランダム化
比較試験

<保険、モニタリング、監査>

能動回避試験

尾懸垂試験

薬物条件付け
場所嗜好性試験



依存、疼痛、発達障害、うつ病の予防法と治療法の改善を目指す、
人に役立つ研究に挑戦する大学院生の皆様をお待ちしています



東京都医学総合研究所 依存性物質プロジェクト